2023年11月改訂(第1版)

日本標準商品分類番号 87279

承認番号 16000AMZ04519000 販売開始 1949年11月

貯 法:室温保存 **有効期間**:4年

口腔用剤

日本薬局方 複方ヨード・グリセリン

複方ヨード・グリセリン「コザカイ・M」

Compound Iodine Glycerin

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 水銀剤を使用中の患者 [10.1参照]

3. 組成・性状

3.1 組成

| 有効成分 | 100mL中 日局 ヨウ素 1.2g、日局 液状フェノール 0.5mL、日局 グリセリン 90mL |
|------|---|
| 添加剤 | ヨウ化カリウム、ハッカ水 |

3.2 製剤の性状

性 状 赤褐色粘稠性の液で、特異なにおいがある。

4. 効能又は効果

咽頭炎、喉頭炎、扁桃炎

6. 用法及び用量

症状に応じ、適宜適量を患部に塗布する。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。

9 6 授到婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

10. 相互作用

10.1 併用禁忌 (併用しないこと)

| | _, | |
|-----------|----------------------------|-------------------|
| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
| 水銀剤 | ヨウ化水銀の毒性(腹痛、嘔吐、下痢、皮膚の炎症等)が | ヨウ化水銀が発生するおそれがある。 |
| マーキュロクロム液 | あらわれるおそれがある。 | |
| [2.2参照] | | |

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用

11.1.1 アナフィラキシー (頻度不明)

アナフィラキシー(呼吸困難、潮紅、蕁麻疹等)があらわれることがある。

11.2 その他の副作用

| | 頻度不明 | |
|----------------|---|--|
| 過敏症 発疹、口腔粘膜び爛等 | | |
| 甲状腺 | 状腺 血中甲状腺ホルモン値 (T ₃ 、T ₄ 等) の上昇あるいは低下など甲状腺機能異常 | |

22. 包装

500mL [ガラス瓶]

24. 文献請求先及び問い合わせ先

吉田製薬株式会社 学術部

〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10 TEL:03-3381-2004 FAX:03-3381-7728

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

小堺製薬株式会社 東京都墨田区両国4-36-9

26.2 発売元

吉田製薬株式会社 東京都中野区中央5-1-10